Office2024LTSCまたはAccess2024LTSC
インストール手順書

世界のお客様にモノづくり視点による全工程のソリューションを提供し新たな板金市場を創造する

2025年8月7日

株式会社　アマダ

株式会社　ケーブルソフトウェア

目次

1. はじめに

2. インストールの準備

（1）Office Customaization Tool からファイル取得

（2）Office Deployment Toolをダウンロード

3. インストールの実施

（1）コマンド実行でOffice/Accessをインストール

１．はじめに

（1）LTSCとは

LTSC はLong-Term Servicing Channelの略で、以下の特徴を持っています。

・インターネット接続なしで利用可

・永続ライセンス

・ダウングレード権が付いている（サポート終了製品は除く）

・個人向けに比べて価格は高い

（2）対象

企業向け製品です。

インストールは複雑です。（企業の情報システム部によるインストールを想定）

（3）個人向けとの同居

個人向け製品との同居は出来ません。

例えば、Office LTSC 2024 ACCESS と Office 2024 EXCEL は同居できません。

Office LTSC 2024 EXCEL を購入する必要があります。

（4）購入先

購入はMicroSoft法人営業かMicroSoftパートナー会社になります。

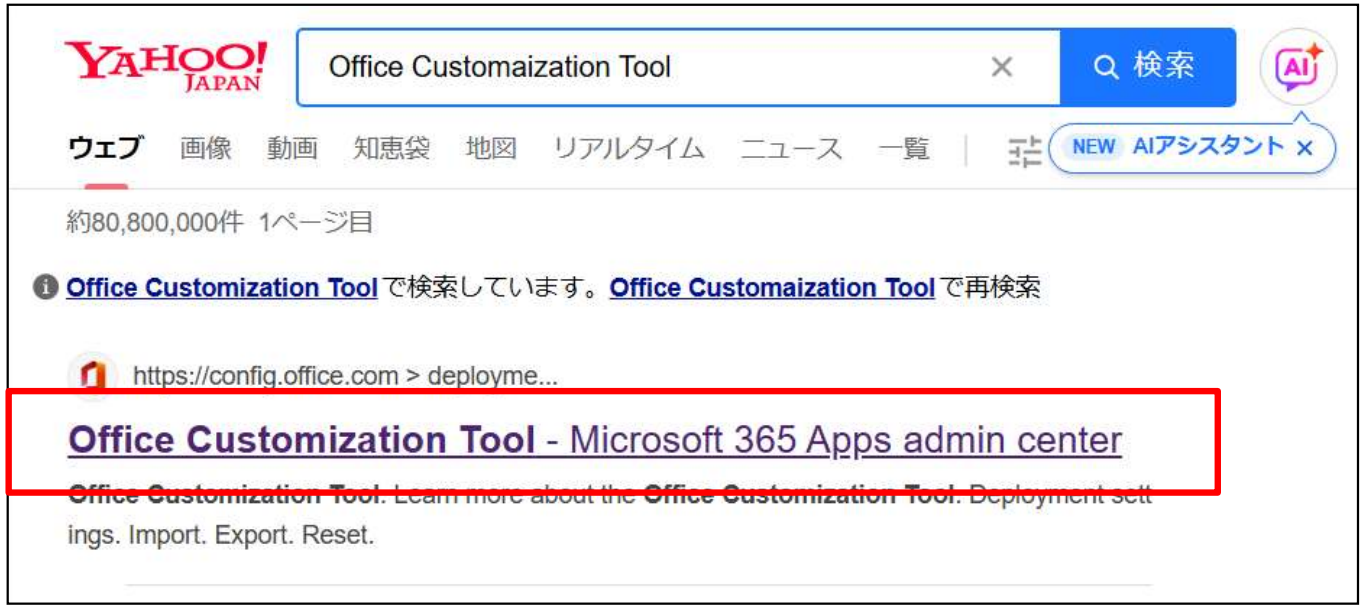
ネットショップ等で販売されている Office LTSC Professional Plus 2024 は非正規品です。

1．インストールの準備

（1）Office Customaization Tool からファイル取得

1）「Office Customaization Tool」で検索

2）「Office Customaization Tool – Microsoft 365 Apps admin center」を開く

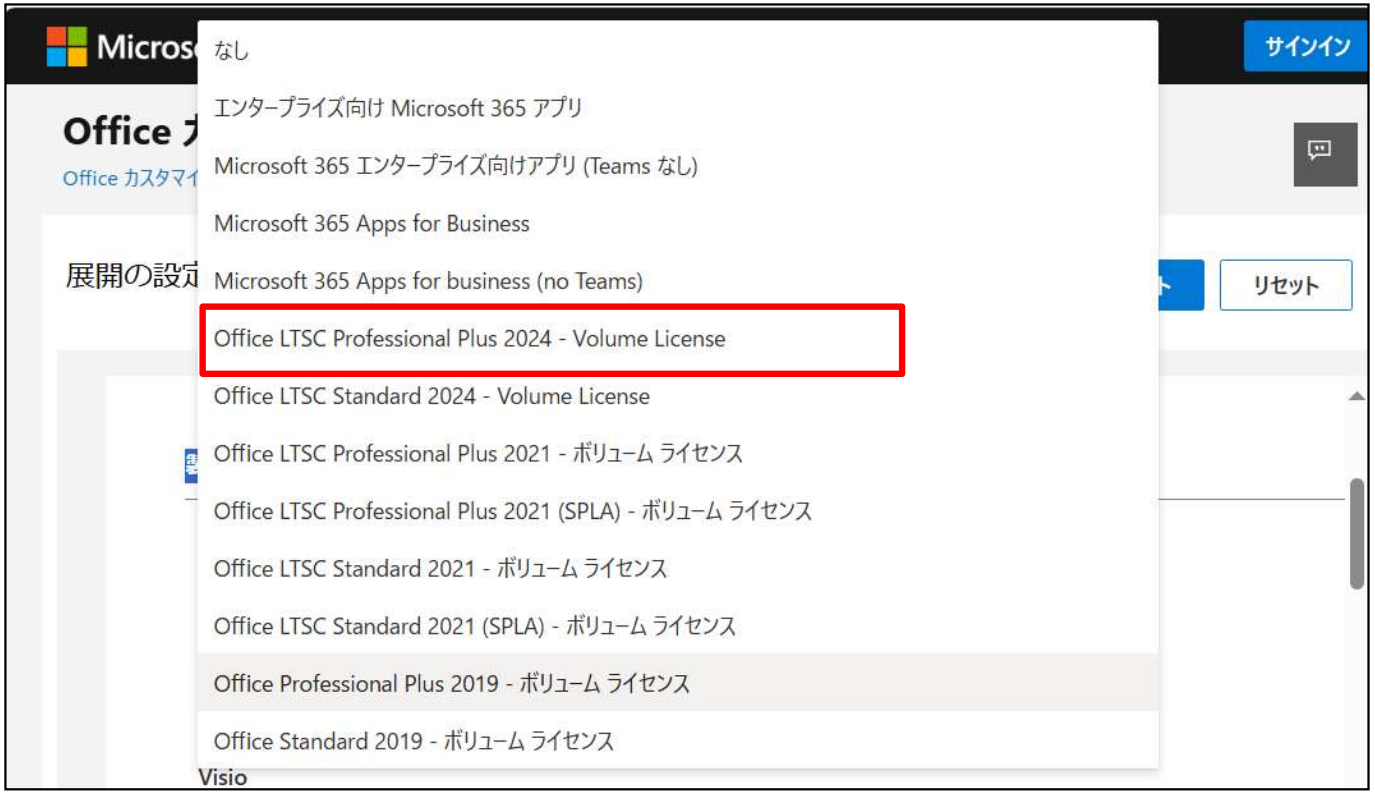


1．インストールの準備

2)-1　製品とリリース
　①　アーキテクチャ
　　（デフォルト）

1．インストールの準備

② 製品
Officeスイート
（該当製品を選択）
例：「Office LTSC Professional Plus 2024 – Volume License」

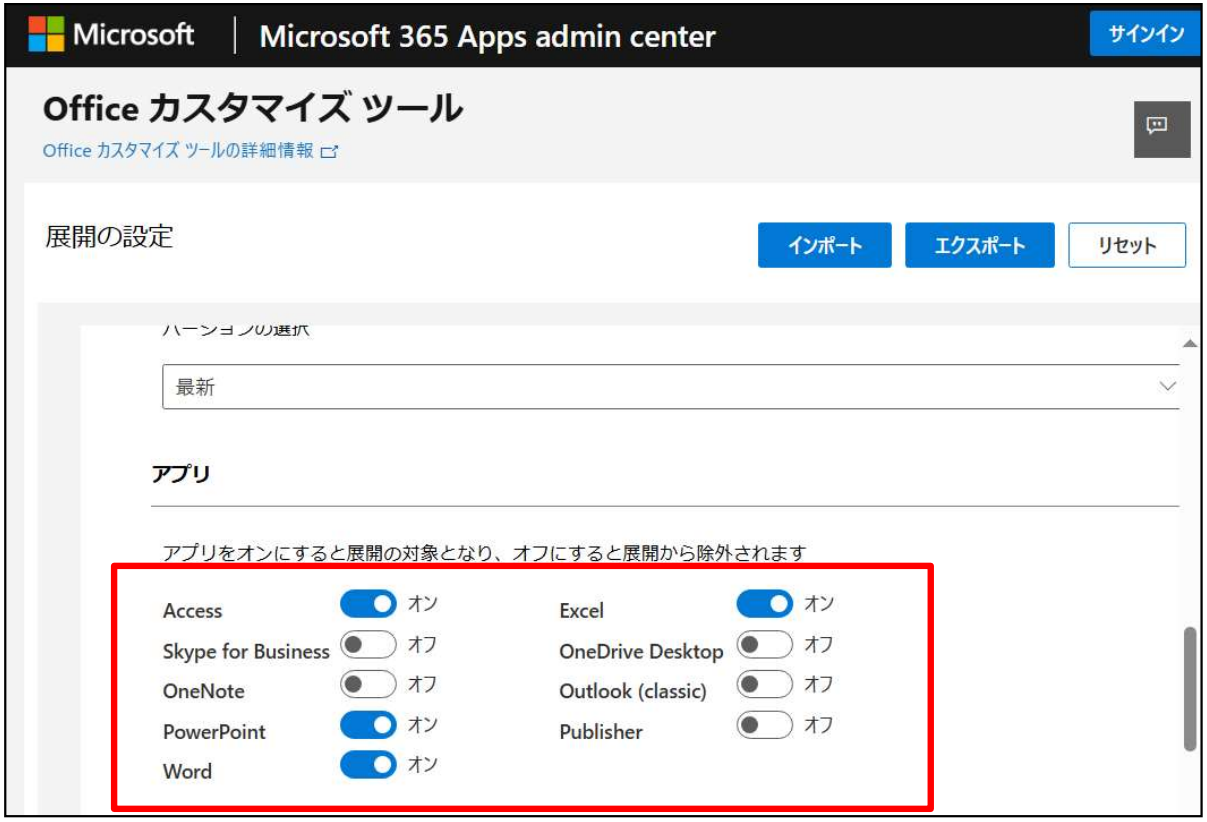


1．インストールの準備

③ 更新チャネル
（デフォルト）

1．インストールの準備

④ アプリ
（必要なアプリを選択）
例：Access、PowerPoint、Word、Excel



1．インストールの準備

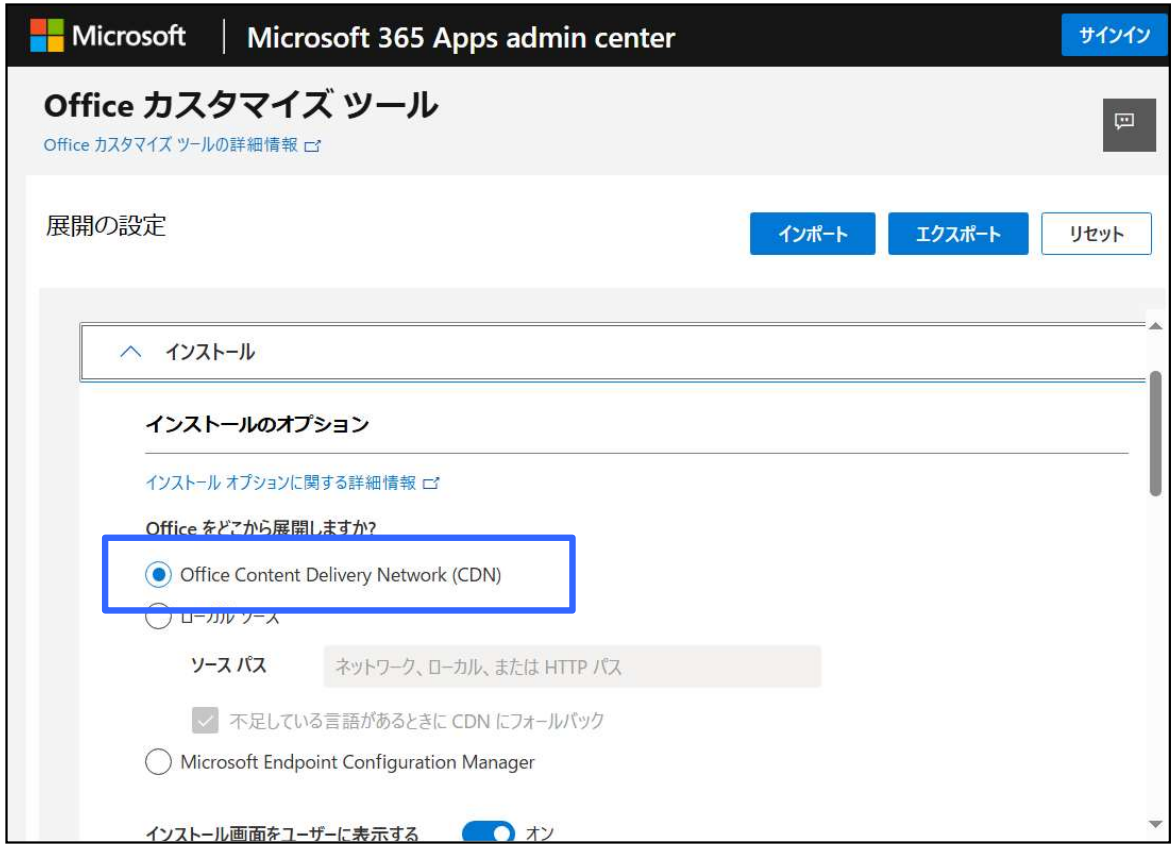
2)-2　言語

①　主言語

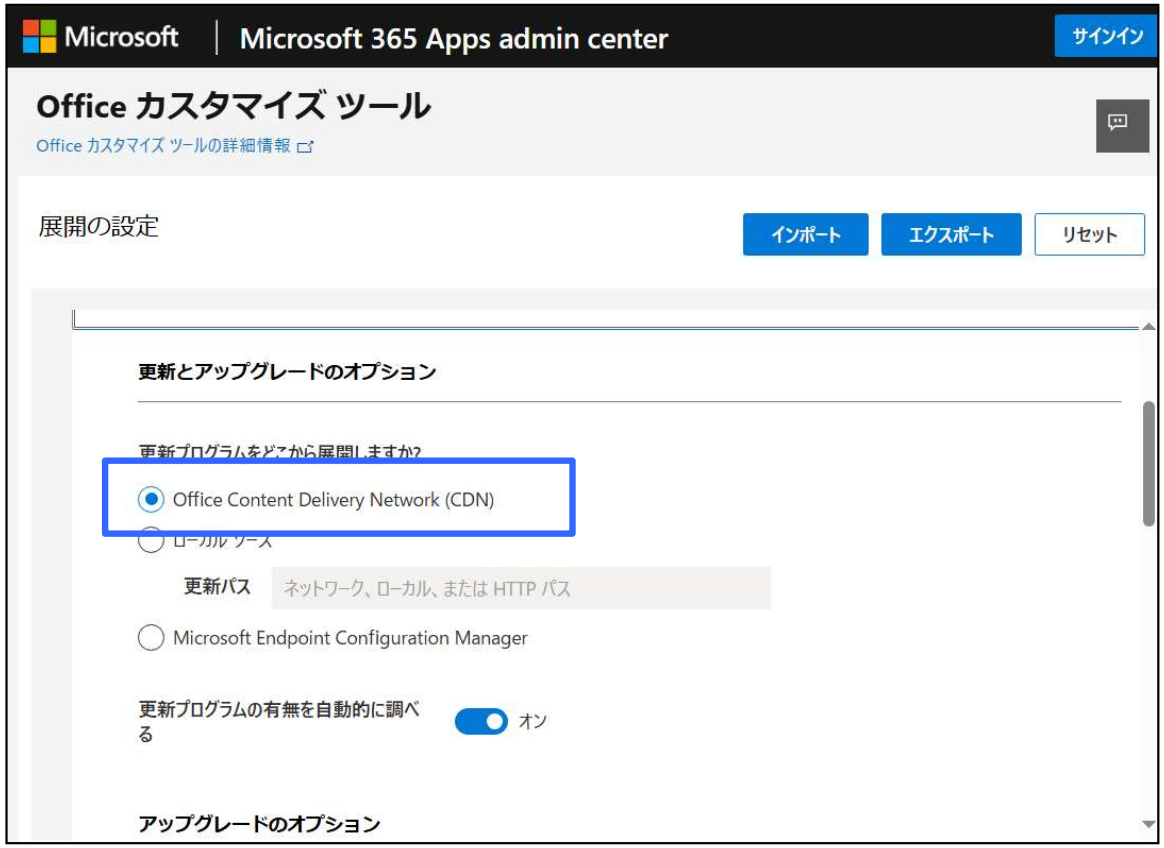
日本語(日本)を選択

1．インストールの準備

2)-3　インストール
（デフォルト）

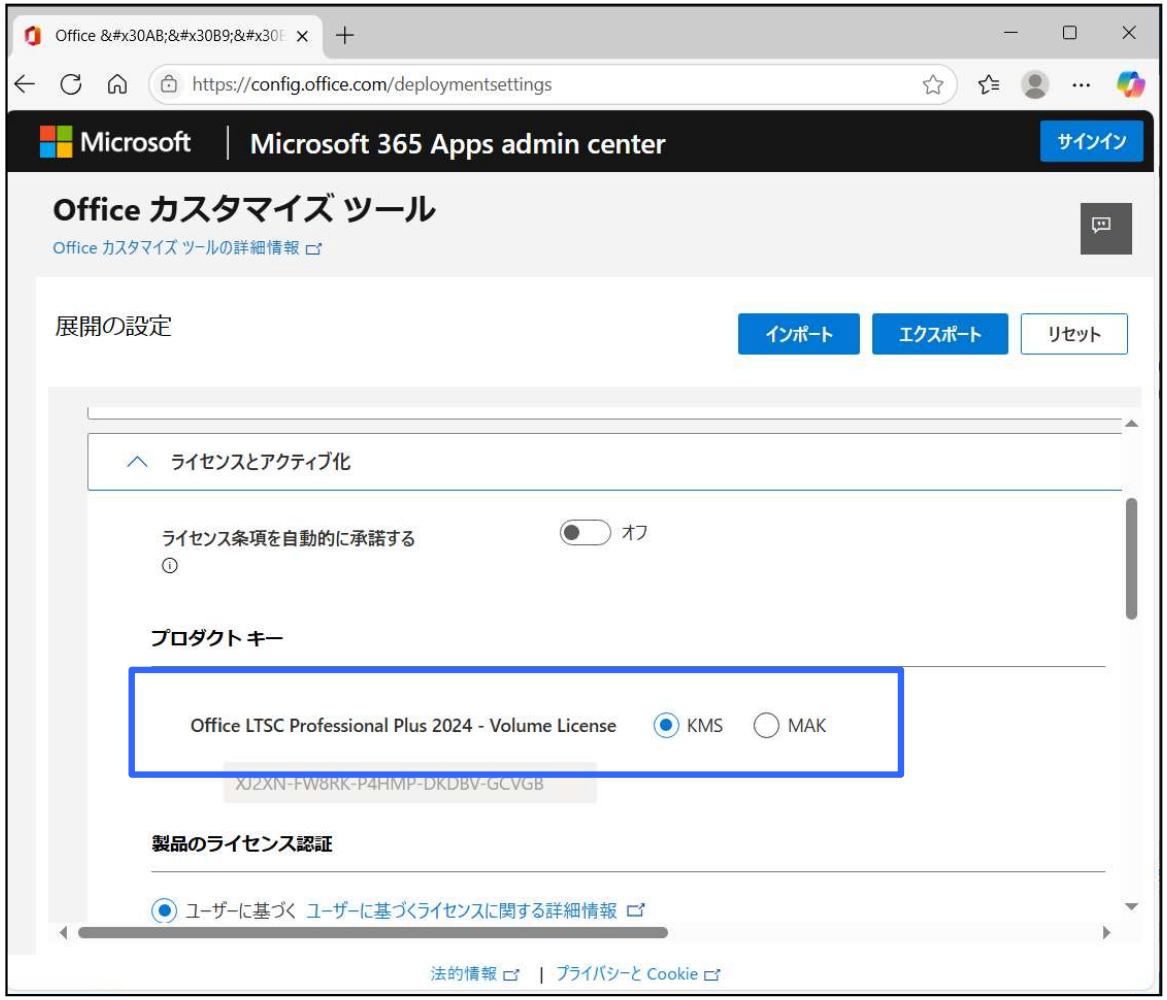


2)-4 更新とアップグレード（デフォルト）



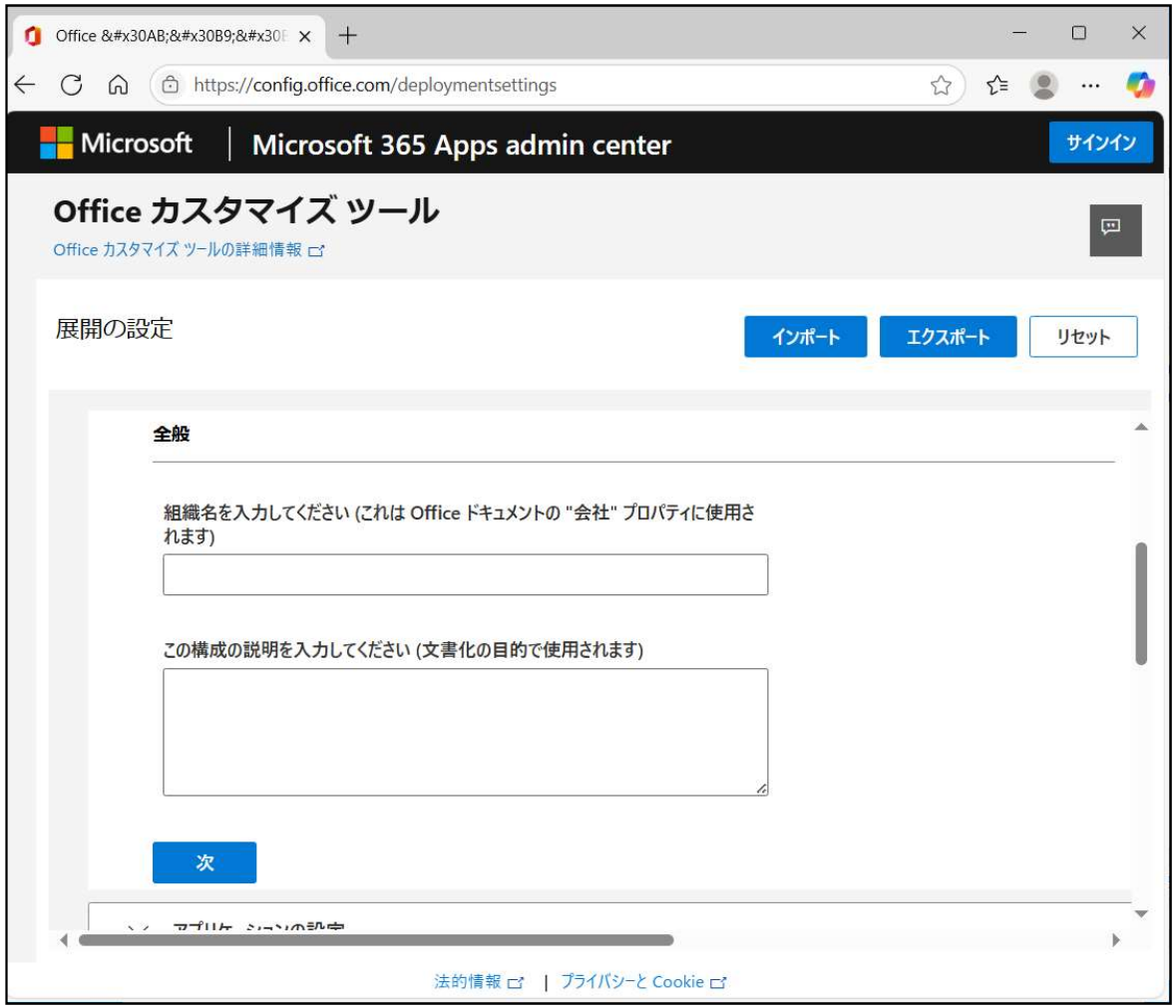
1．インストールの準備

2)-5 ライセンンスとアクティブ化（デフォルト）



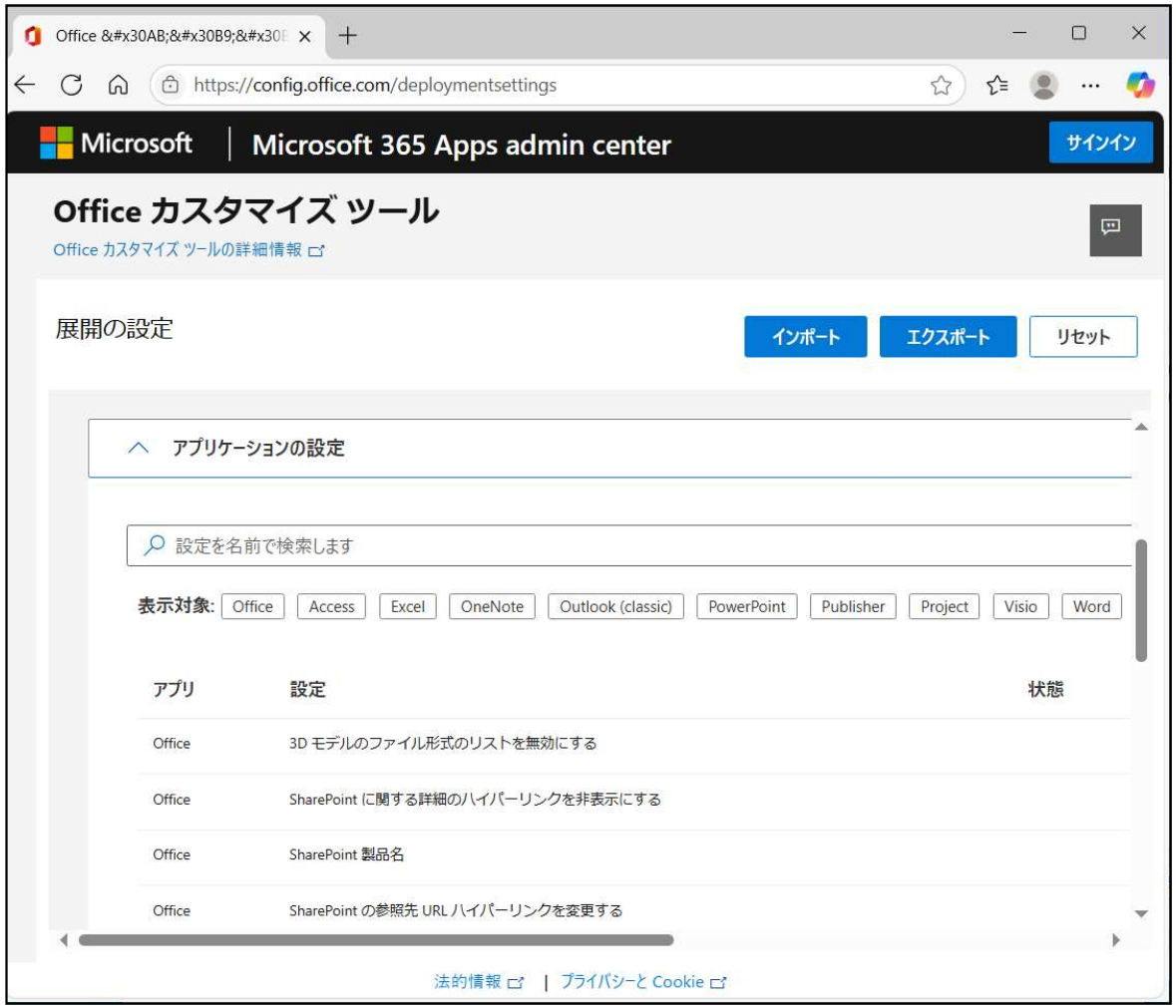
1．インストールの準備

2)-6　全般
（デフォルト）

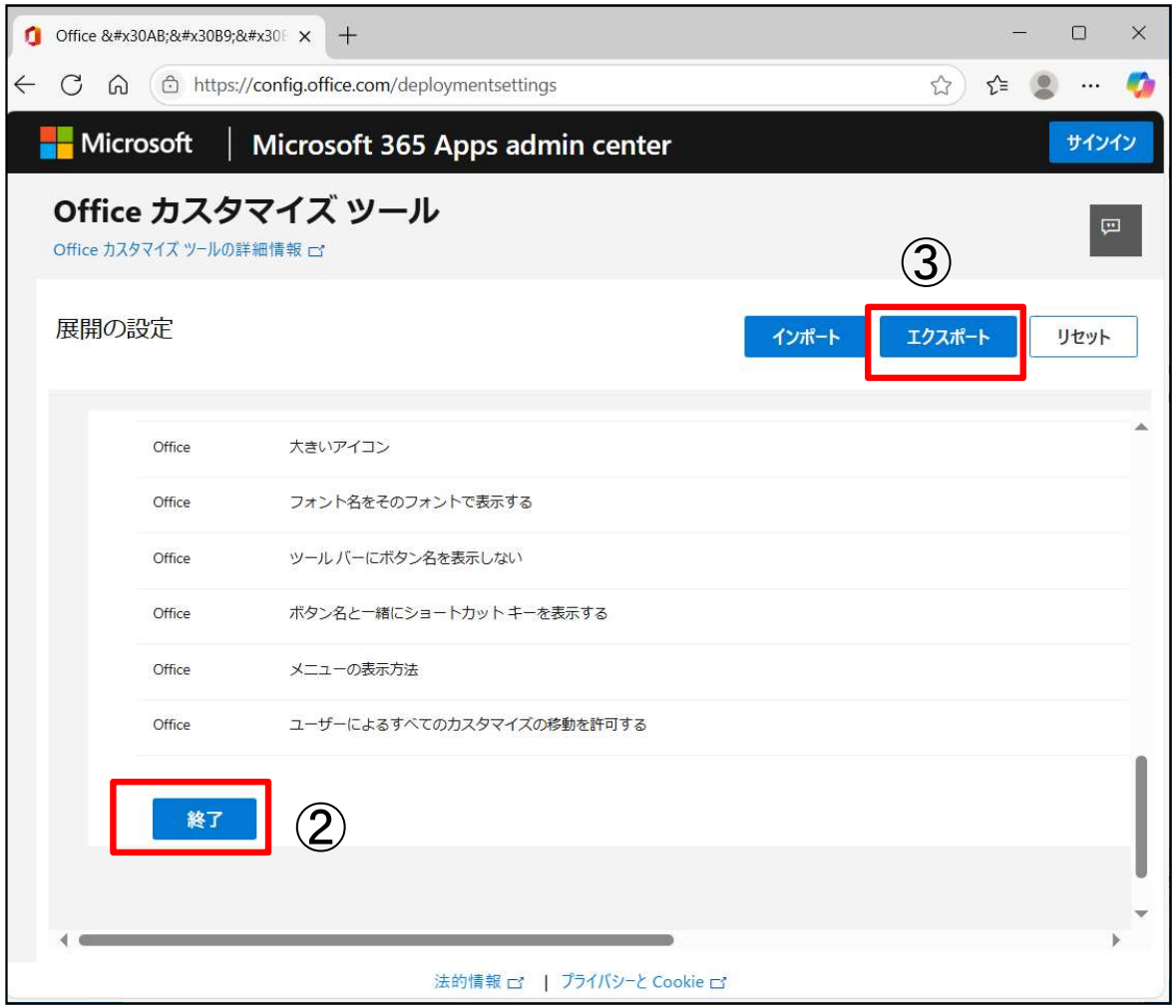


1．インストールの準備

2)-6　アプリケーションの設定
（デフォルト）



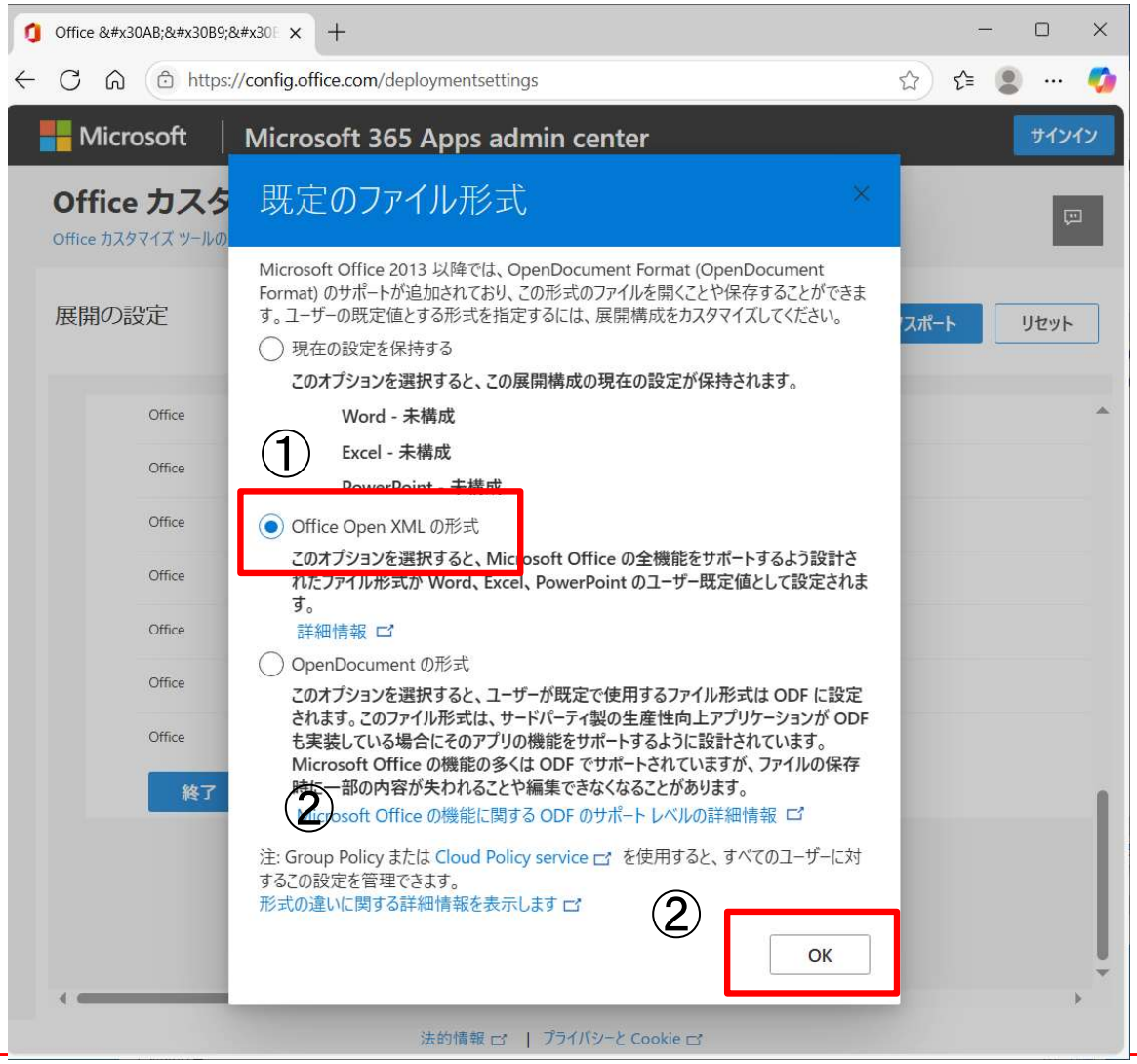
2)-7 展開の設定
（デフォルト）



①
スクロール

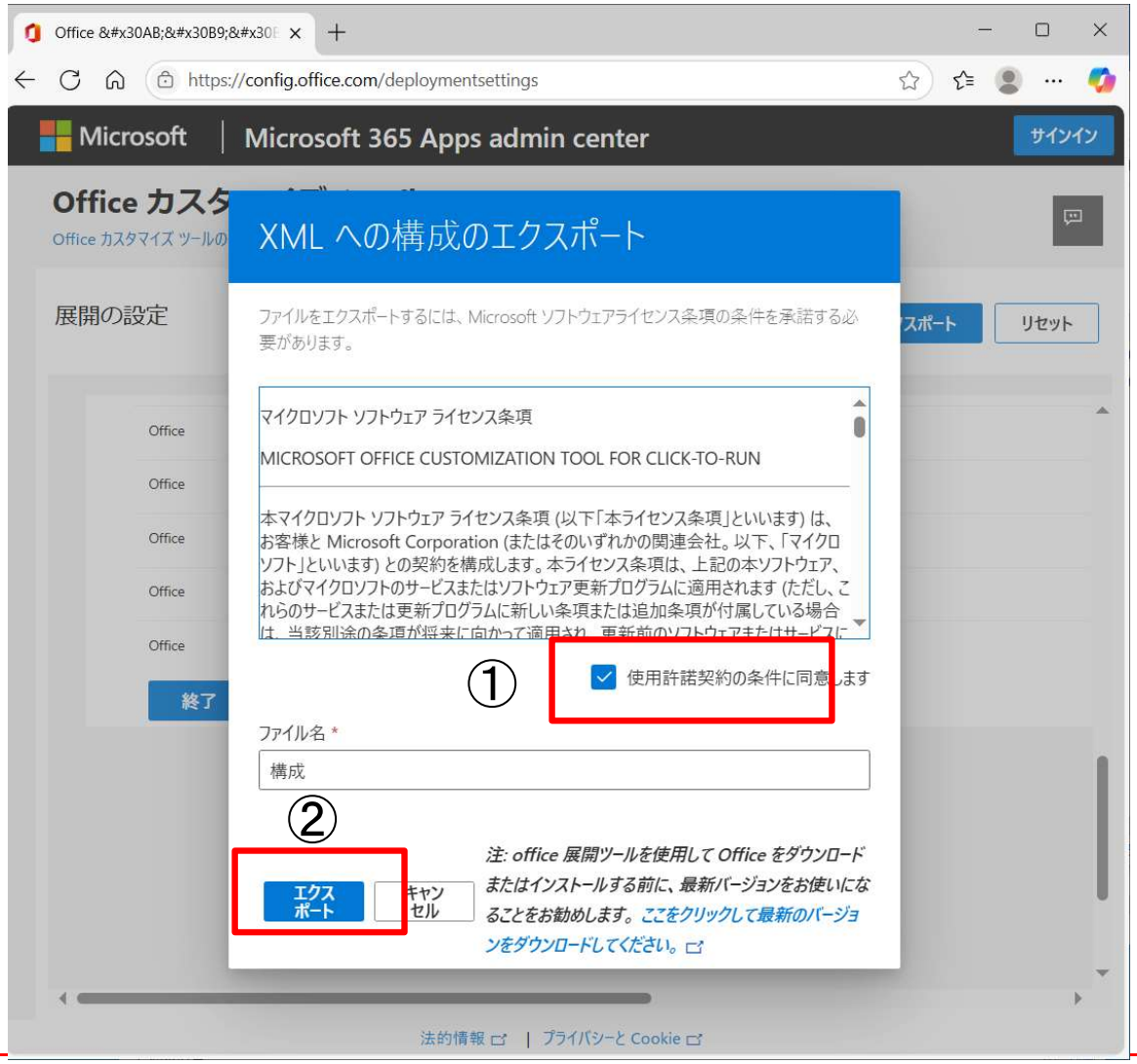
1．インストールの準備

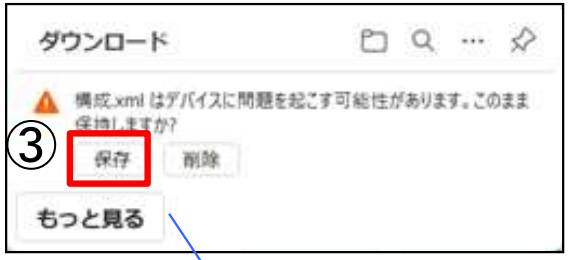
2)-8　既定のファイル形式
「Office Open XMLの形式」を選択

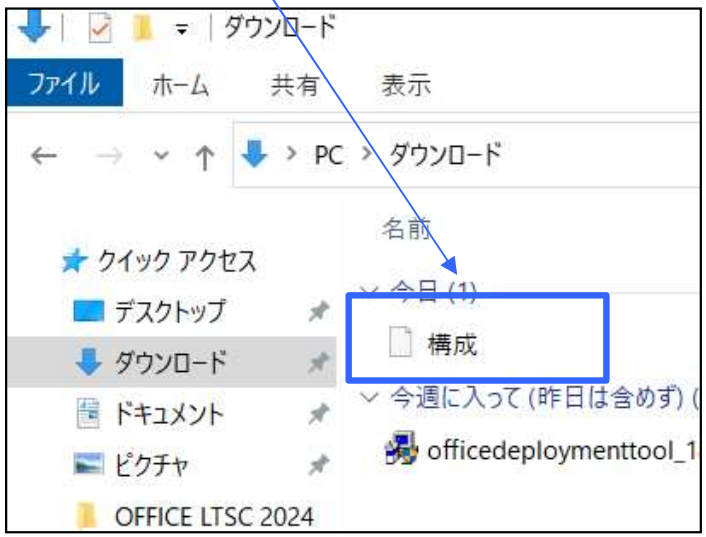


1．インストールの準備

2)-9　XMLへの構成のエクスポート
「使用許諾…」を選択しエクスポート実行　⇒　ダウンロードフォルダに出力



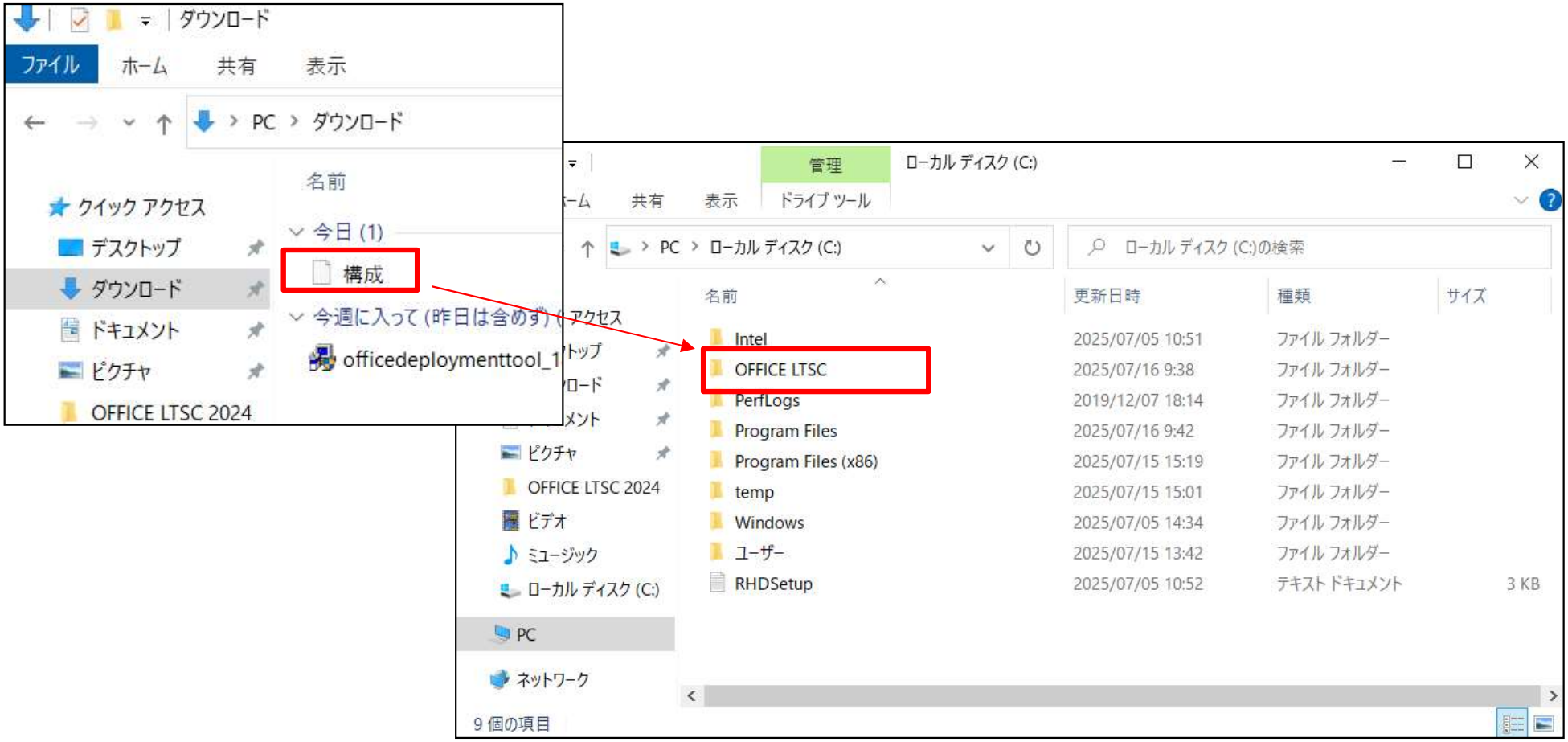




1．インストールの準備

2)-10　構成ファイルを移動

Cドライブ直下に「OfficeLTSC」フォルダを作り「構成」ファイルを移動する。

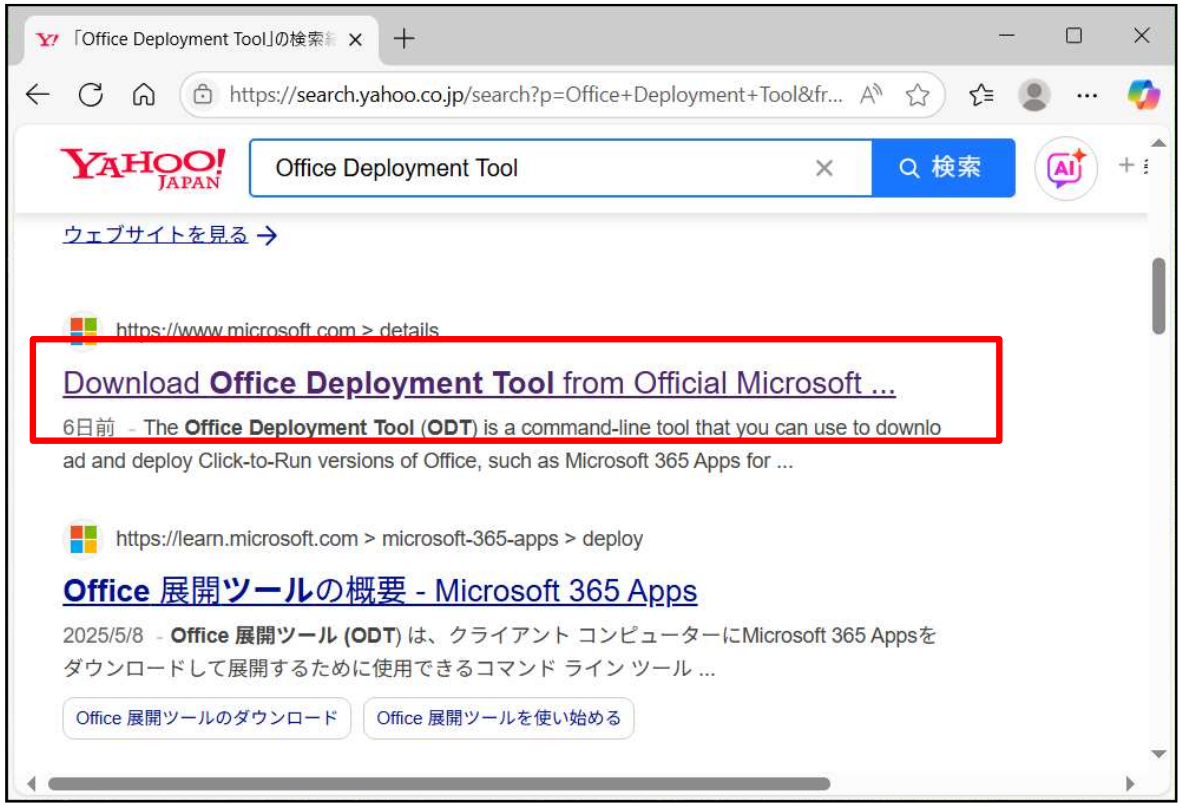


１．インストールの準備

（2）Office Deployment Toolをダウンロード

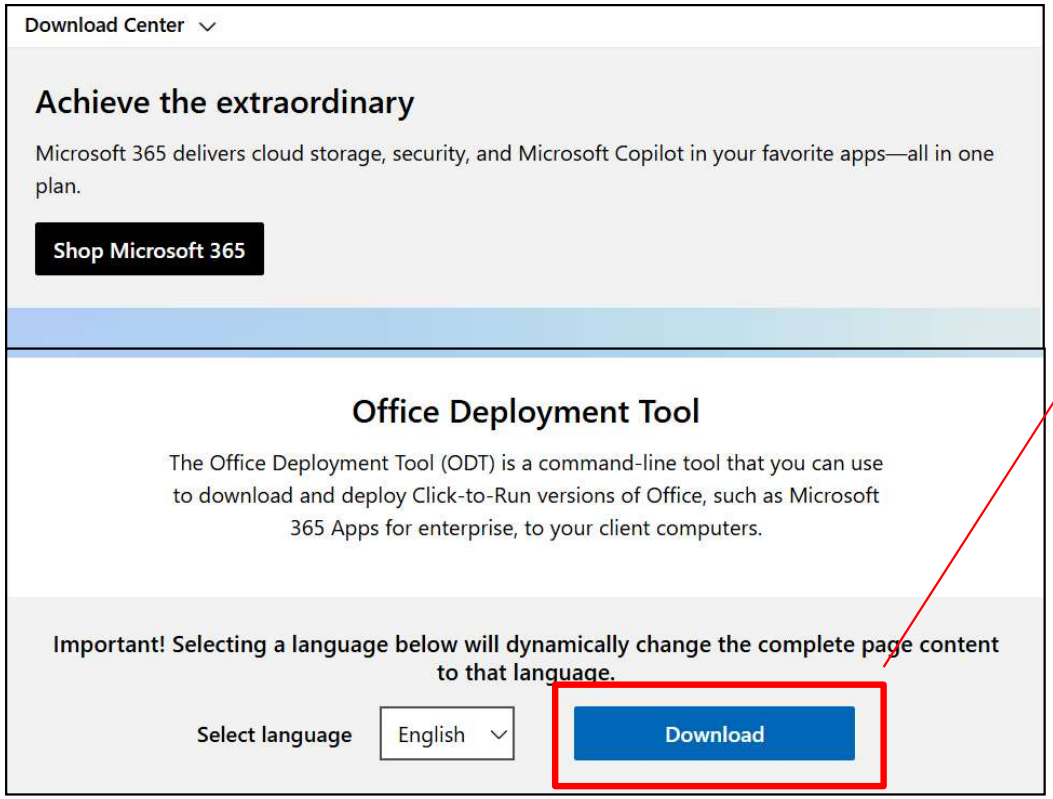
１）「Office Deployment Tool」で検索

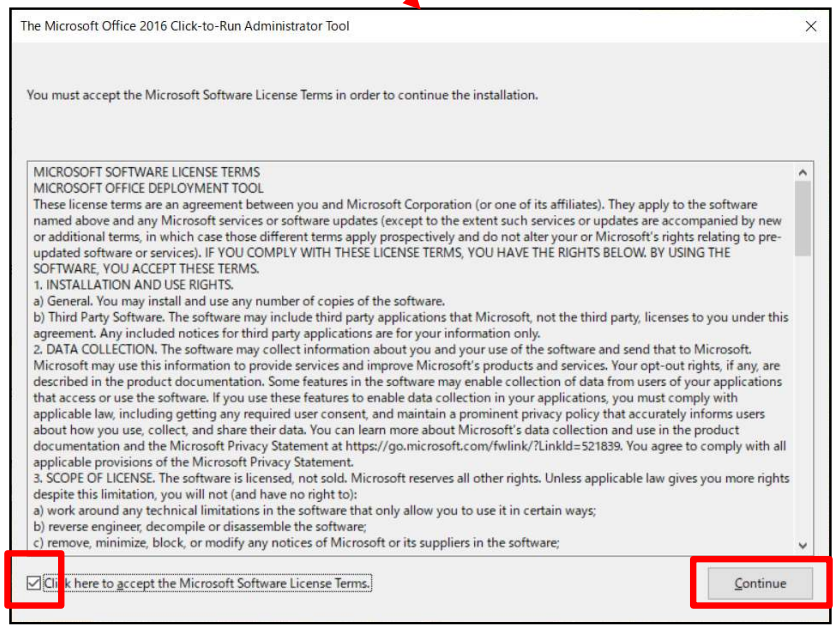
２）「Download Office Deployment Tool From ten ten …」を開く



1．インストールの準備

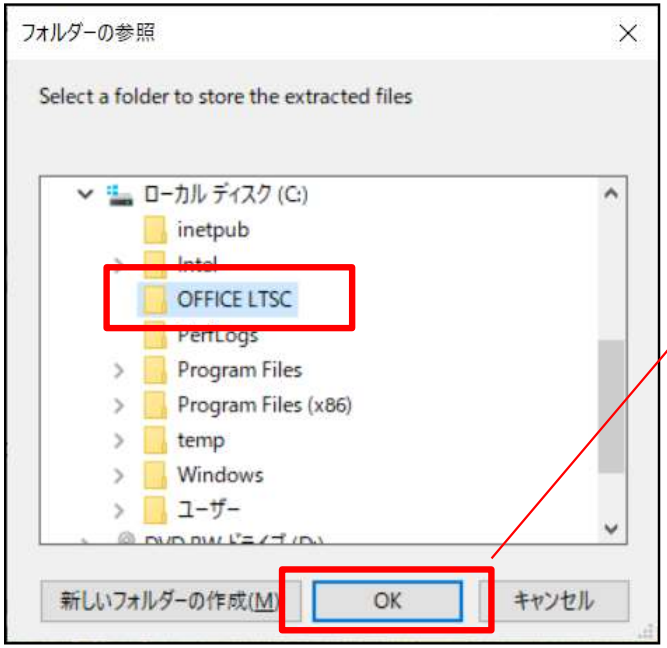
2)-1　ダウンロード
英語ですが気にせず「Download」をクリック

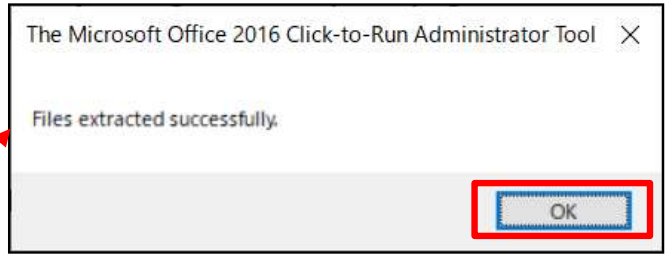


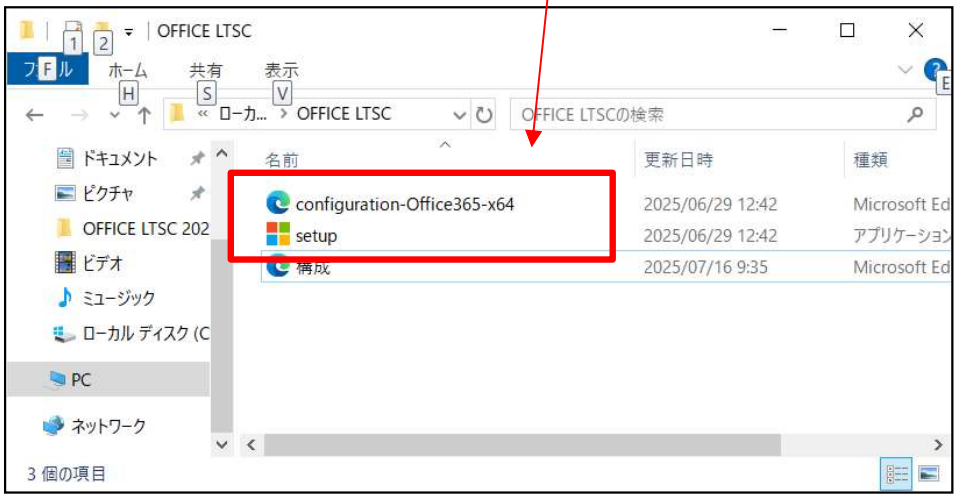


1．インストールの準備

2)-2　ダウンロード先を指定
先ほど作成したCドライブ直下の「Office LTSC」フォルダを指定します。







２．インストールの実行

（1）コマンド実行でOffice/Accessをインストール

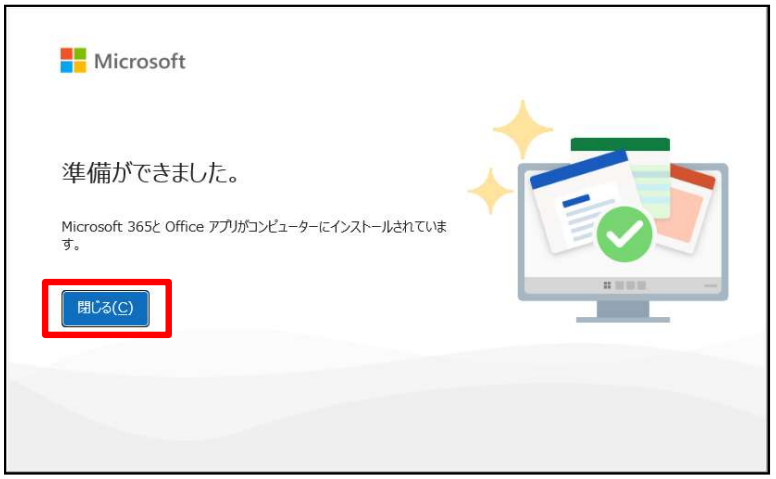
1）管理者でコマンドプロンプトを開く

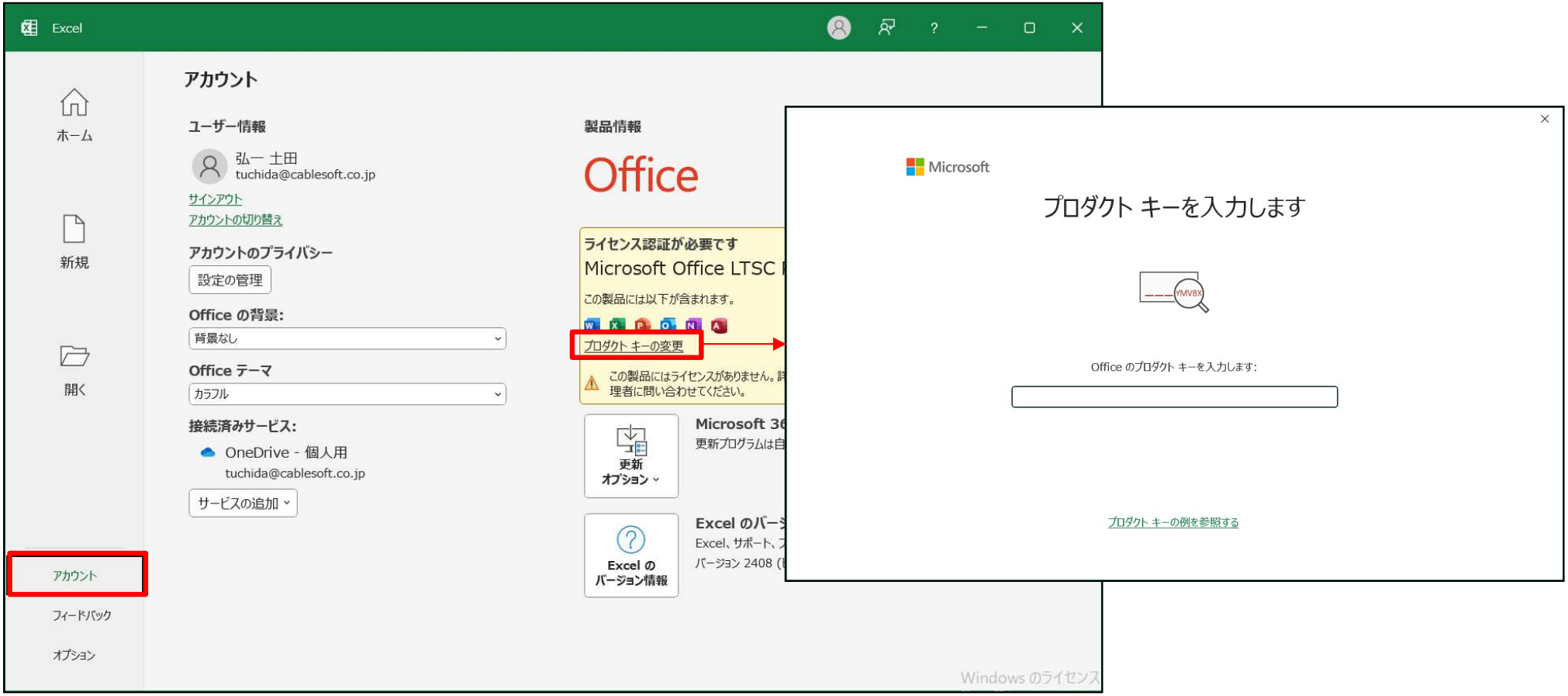
2）「Office LTSC」フォルダに移動し、Setupコマンドを実行

C:¥WINDOWS¥system32 >cd C:¥OFFICE LTSC

C:¥OFFICE LTSC>setup /configure 構成.xml

数分待つ



２．インストールの実行

３）セットアップ完了後
　スタートメニューからOfficeを起動し、プロダクトキーを入力してライセンス認証を行います。